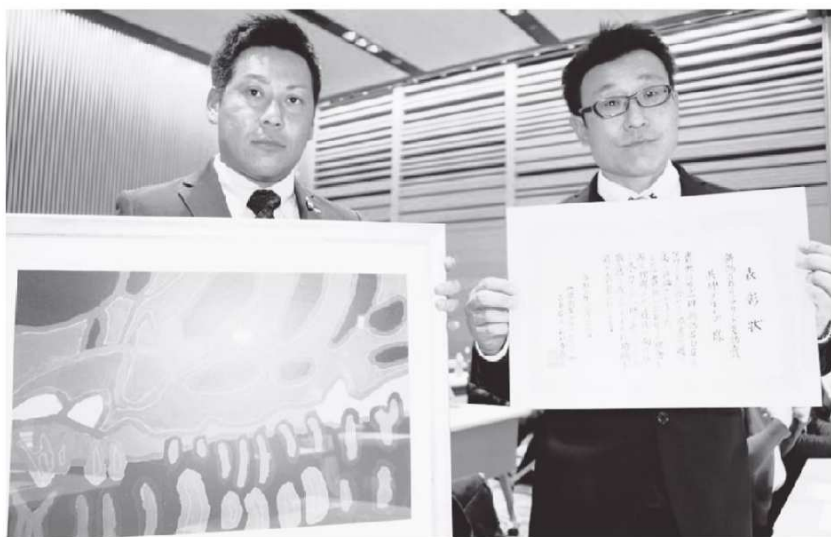


共伸商会及びエコリサイクル共伸の共伸グループ（佐藤幸雄社長）は、「第1回新潟SDGsアワード」（地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」主催）の奨励賞を受賞した。SDGsに関する同グループによる「32万トンのCO<sub>2</sub>削減と埋め立て処分をゼロにする活動」が評価を受けた。県内の自動車業界では初の受賞となる。市内のホールで表彰式が行われ、同グループの佐藤陽輔常務と企画推進部の安尻学氏の2人が出席し、表彰状と記念品を受領した。

## ● 第1回新潟SDGsアワード ● 共伸グループが奨励賞



ユレッター新設により廃止し、た県外へのトレーラー輸送のCO<sub>2</sub>削減量の数値化。サーマルリサイクル（廃棄物の焼却時に発生するエネルギーを熱や蒸気などとして回収）に

取組み、バンパーやシートなどのプレス加工及び高精度な分別作業による再資源化を進めて埋め立て処分ゼロ。災害被災地からの被災車両引き上げなどの支援活動。新潟県独自の対策として離島の佐渡地域の廃車引き取りなど。

同グループでは、「資源を循環する地球に優しい社会をつくる」をSDGs宣言として掲げ、17ある目標に向けて設定を行い、そのうちの7つのゴールを達成した。NGP本部と同様に自動車リサイクルパーツの生産と適正処理によるCO<sub>2</sub>削減に向けた取組みを、より一層の拡大を目指してホームページの開設などを通して独自性も明確に打ち出し地域からの情報発信にも力を入れてきた。

## 県内の自動車業界で初の受賞

弾みにさらに広げていき、現在6ゴールから始めて7ゴールを達成し、さらにゴールを増やしていきたい」と今後の見通しを語った。

このSDGsアワードは、新潟県内の企業、団体、個人によるSDGs関連の優れた取り組みを表彰することで、SDGsに対する理解や取り組みの深化を図るとともに県内の経済、社会、環境により良い相乗感が生まれることを目指すもの。

また、同アワードを主催する「SDGsにいがた」は、県内の経済、社会、環境と向き合い、持続可能でより良いサイクルを生み出したいとの思いのもと、新潟県をはじめとした地方自治体と地元企業が推進メンバーとなって2020年4月に発足された。現在150社、200人を超える会員数となっている。

（新潟）